

Information ご利用案内

プラネタリウム投影開始時刻

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平 日	9:50 (団体予約がある時のみ)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50
学校長期休業中	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30 (キッズプラネタリウム)	15:50

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、変更することがあります。プラネタリウムの投影開始時刻等につきましては、ホームページをご確認ください。

休 館 日

毎週月曜日・第2火曜日

ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。※臨時休館あり

年末(2021年12月27日(月)～31日(金))・2022年1月4日(火)

年 始 の 営 業 日 時

1月1日(土)～1月3日(月)午前11時～午後3時(最終入館は午後2時30分まで)
※1月1日(土)～1月3日(月)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

観 覧 料

	大 人 (高校生以下無料)
一 般	700 円
団体 (30人以上100人未満)	630 円
団体 (100人以上)	560 円
年間パスポート	2,000 円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※高齢者割引、障害者割引を行っています。

※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。

※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

駐 車 場

普通乗用車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごと
に100円)／大型バス(8台):1回1,500円

施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。



SEIKO

お問い合わせ先:セイコークロック株式会社 お客様相談室 0120-315-474 (9:30～17:30 土・日・祝祭日を除く) <https://www.seiko-clock.co.jp/>

交通のご案内



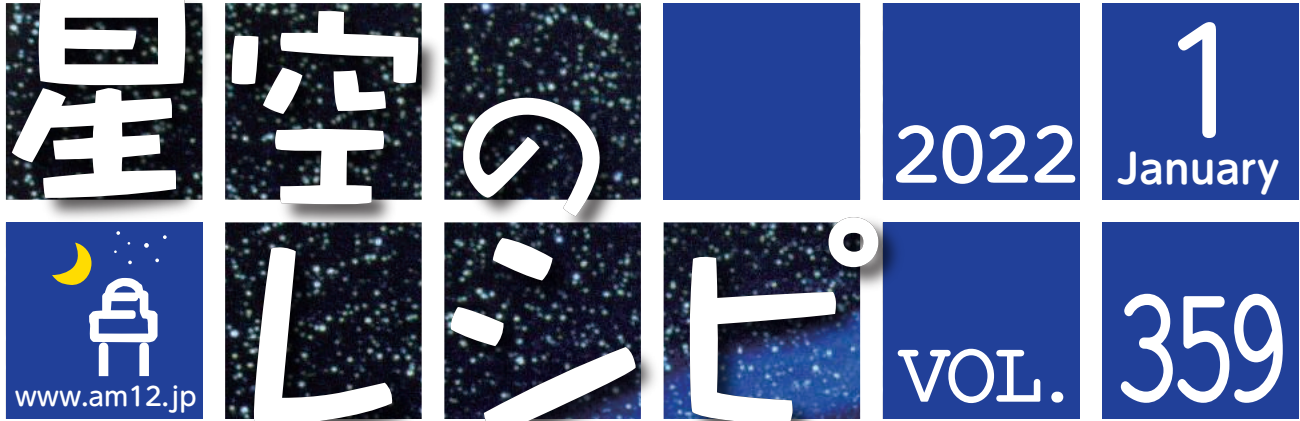
- JR明石駅下車 東へ1 km(徒歩約15 分)
- 山陽電車人丸前駅下車 北へ約 0.2 km(徒歩約 3 分)
- 車では国道 2 号線人丸前交差点から北へ約 0.2 km
- 第二神明道路 大蔵谷 I.C. から南西へ約 3 km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約 6 km で国道 2 号線へ。国道 2 号線を西へ約 4 km(約 20 分)

明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/> ツイッター @jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiwase-tenmon@city.akashi.lg.jp

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK



特集： ① 2022年の天文現象 ② 天文みごろカレンダー

2021.11.19 部分月食 (左)連続写真 (右上)食の最大 (右下)月食とプレアデス星団(すばる) (YouTubeライブ配信より)



星空のレシピ

VOL. 359

2022

1月号

★ 星空のレシピ VOL.359 2022年(令和4年)1月発行
★ 発行 / 明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL078-919-5000



1月

- 1日 元日(明石の初日の出は7:07)
- 1日 月と火星が並び(明け方)
- 4日 しびんぎ座流星群が極大
- 4日 月と水星・土星が並び
- 5日 小寒
- 5日 月と木星・土星が並び
- 6日 月と木星が並び
- 7日 水星が東方最大離角
- 9日 金星が内合
- 20日 大寒
- 30日 月と金星・火星が並び(明け方)

2月

- 3日 月と木星が並び
- 4日 立春
- 5日 土星が合
- 13日 金星が最大光度
- 17日 水星が西方最大離角
- 19日 雨水
- 27日 月と金星・火星が並び(明け方)

3月

- 5日 啓蟄
- 5日 木星が合
- 13日 海王星が合
- 16日 金星と火星が並び(明け方)
- 20日 金星が西方最大離角
- 21日 春分
- 28日 月と金星・土星・火星が並び(明け方)
- 29日 金星と土星が並び(明け方)

4月

- 5日 清明
- 5日 火星と土星が並び(明け方)
- 20日 穀雨
- 23日 こと座流星群が極大
- 25日 月と土星が並び(明け方)
- 26日 月と火星が並び(明け方)
- 27日 月と金星・木星が並び(明け方)
- 29日 水星が東方最大離角

5月

- 1日 南太平洋、南米などで部分日食(日本からは見られない)
- 1日 金星と木星が並び(明け方)
- 2日 月と水星が並び
- 5日 立夏
- 5日 天王星が合
- 6日 みずがめ座 η (エータ)流星群が極大
- 16日 南北アメリカ、大西洋などで皆既月食(日本では見られない)
- 21日 小満
- 22日 月と土星が並び
- 25日 月と火星・木星が並び(明け方)
- 27日 月と金星が並び(明け方)
- 29日 火星と木星が並び
- 31日 ヘルクレス座 τ (タウ)流星群が極大

6月

- 6日 芒種
- 16日 水星が西方最大離角
- 18日 月と土星が並び
- 21日 夏至
- 21日 月と木星が並び
- 22日 月と火星が並び
- 26日 月と金星が並び(明け方)

Winter



7月

- 7日 小暑
- 14日 2022年最大の満月
- 15日 月と土星が並び
- 18日 月と木星が並び
- 21日 月と火星が並び
- 23日 大暑
- 27日 月と金星が並び(明け方)
- 30日 みずがめ座 δ (デルタ)南流星群が極大

8月

- 4日 旧暦七夕
- 7日 立秋
- 12日 月と土星が並び
- 13日 ペルセウス座流星群が極大
- 15日 月と木星が並び
- 15日 土星が衝
- 19日 月と火星が並び
- 23日 処暑
- 26日 月と金星が並び(明け方)
- 28日 水星が東方最大離角
- 29日 月と水星が並び

9月

- 8日 白露
- 8日 月と土星が並び
- 10日 中秋の名月
- 11日 月と木星が並び
- 16日 月と火星が並び
- 17日 海王星が衝
- 23日 秋分
- 27日 木星が衝

summer

10月

- 5日 月と土星が並び
- 8日 寒露
- 8日 月と木星が並び
- 9日 りゅう座(10月)流星群(ジャコビニ流星群)が極大
- 9日 水星が西方最大離角
- 14日 月と火星が並び
- 22日 オリオン座流星群が極大
- 23日 霜降
- 23日 金星が外合
- 25日 ヨーロッパ、中東などで部分日食(日本からは見られない)

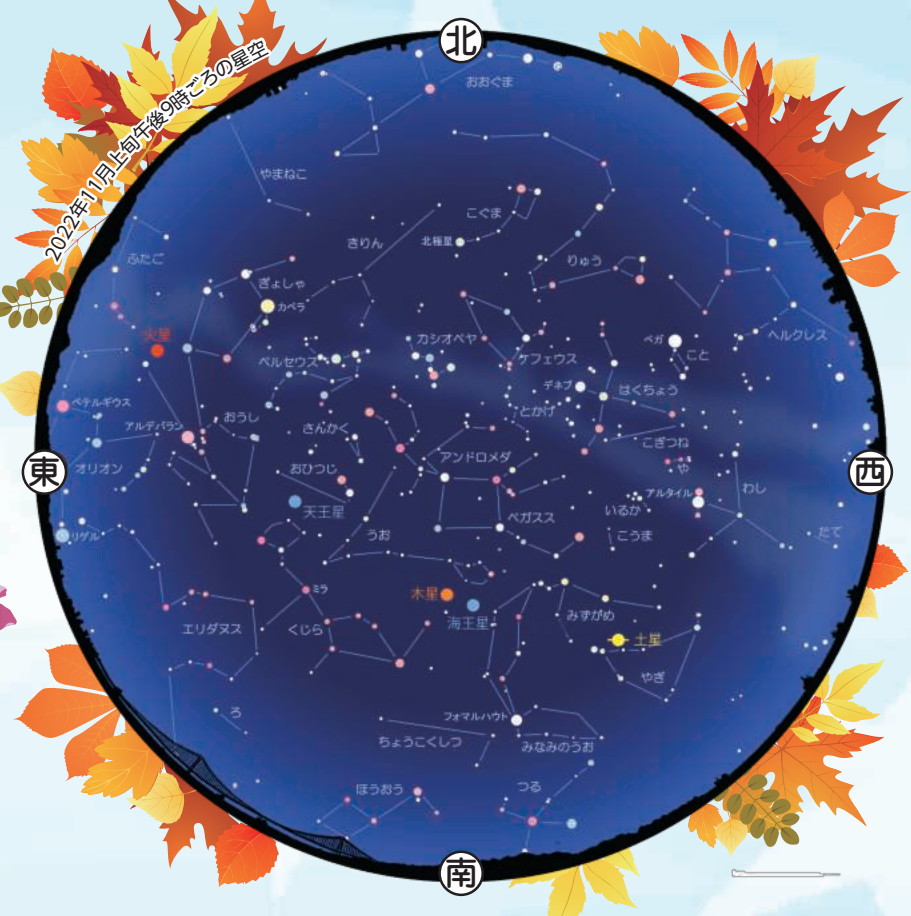
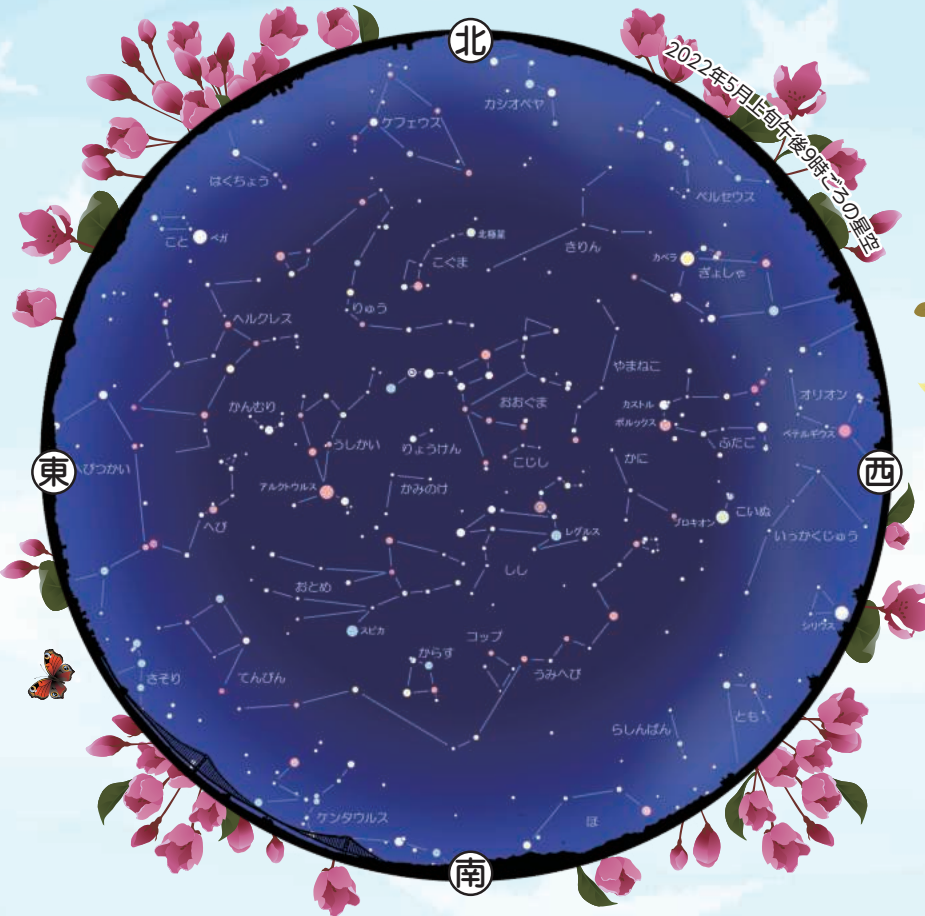
11月

- 1日 月と土星が並び
- 2日 おうし座南流星群が極大
- 4日 月と木星が並び
- 7日 立冬
- 8日 皆既月食(食の始め 18:08 皆既食の始め 19:16 食の最大 19:59 皆既食の終り 20:42 食の終わり 21:49)
- 8日 皆既月食中の天王星食(潜入 20:30 出現 21:20)
- 9日 天王星が衝
- 11日 月と火星が並び
- 13日 おうし座北流星群が極大
- 18日 しし座流星群が極大
- 22日 小雪
- 29日 月と土星が並び

12月

- 1日 火星が最接近(0.544AU=8145万km)
- 2日 月と木星が並び
- 7日 大雪
- 7日 月と火星が並び
- 8日 火星が衝
- 14日 ふたご座流星群が極大
- 22日 冬至
- 22日 水星が東方最大離角
- 25日 月と水星・金星が並び
- 26日 月と土星が並び
- 29日 月と木星が並び

Autumn



2022年の天文現象

天文みごろ カレンダー

2022年の夜空のみごろを表にしています。
表をもとに、夜空を観察してみましょう。

表の見方

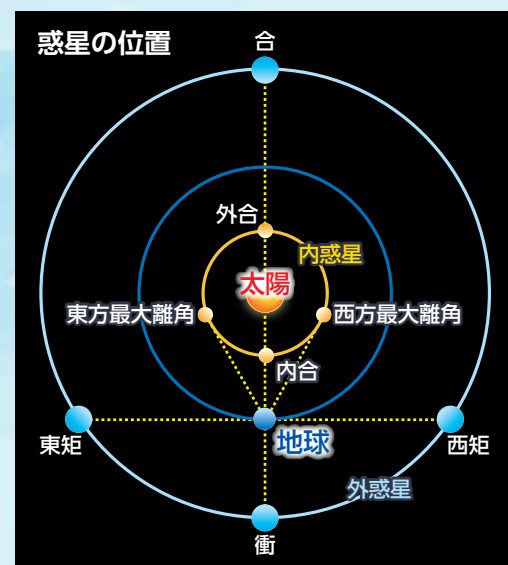
月の暦

- 5. 月がこの状態になる日
- 月の見え方
- 望 この状態のよび方

- 望(満月) ● 下弦 ● 朔(新月)
- 上弦

惑星(水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星)

惑星の見え方は、太陽と惑星と地球の位置関係によって決まります。地球から見て太陽と同じ方向に惑星があるときを「合(ごう)」といい、合にある惑星は見えません。また、地球から見て太陽と反対側に惑星があるときを「衝(しょう)」といい、衝にある惑星は一晚中見えます。



- しょう 衝 ……真夜中に南中、観測好機
- ◆ せいぐ 西矩 ……日出時に南中。明け方の東空に見える
- ◆ とうく 東矩 ……日入時に南中。夕方の西空に見える
- せいほう 西方最大離角 ……明け方の東空に見える
- とうほう 東方最大離角 ……夕方の西空に見える
- ✕ 合・内合・外合 ……太陽の方向にあり観測できない

うお座 ……カレンダー上の線が引いてある時期に惑星が空に見えます。線上の星座名は、その時期に惑星が位置するところにある星座です。左の例の場合は、うお座のあたりに惑星が見えます。

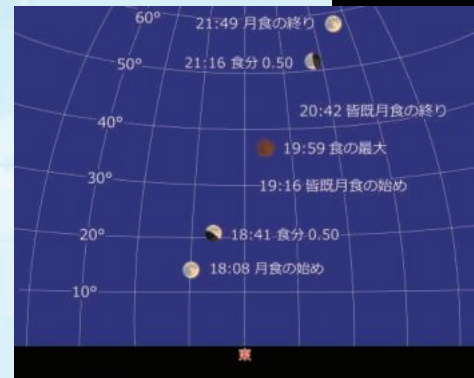
流星群

日食・月食

※記号上の日付は、それぞれの現象がおこる日です。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
月の暦	3 10 18 25 朔 上弦 望 下弦	1 8 17 24 朔 上弦 望 下弦	3 10 18 25 朔 上弦 望 下弦	1 9 17 23 朔 上弦 望 下弦	1 9 16 23 30 朔 上弦 望 下弦 朔	7 14 21 29 上弦 望 下弦 朔	7 14 20 29 上弦 望 下弦 朔	5 12 19 27 上弦 望 下弦 朔	4 10 18 26 上弦 望 下弦 朔	3 10 18 25 上弦 望 下弦 朔	1 8 16 24 30 上弦 望 下弦 朔 上弦	8 16 23 30 望 下弦 朔 上弦	
水星	東方最大離角 7日 夕方に見える	西方最大離角 17日 明け方に見える		外合 3日	東方最大離角 29日 夕方に見える	内合 22日	西方最大離角 16日 明け方に見える	外合 17日	東方最大離角 28日 夕方に見える	内合 23日	西方最大離角 9日 明け方に見える	外合 9日	東方最大離角 22日 夕方に見える
金星	内合 9日 いて座	最大光度 13日	西方最大離角 20日 明けの明星として 明け方の東空にかがやく	みずがめ座	うお座	おひつじ座	おうし座	ふたご座	かに座	しし座	外合 23日		いて座 宵の明星として 夕方の西空にかがやく
火星	へびつかい座	いて座	やぎ座	みずがめ座		うお座	おひつじ座	おうし座	西矩 27日 明け方に見える		おうし座	最接近 1日 8日 一晩中見える	
木星	みずがめ座		合 5日		うお座	西矩 29日 明け方に見える		くじら座	衝 27日 一晩中見える		うお座	東矩 22日 夕方に見える	
土星	やぎ座	合 5日		やぎ座	西矩 16日 明け方に見える	やぎ座	衝 15日 一晩中見える		やぎ座	東矩 11日 夕方に見える	やぎ座		
天王星	東矩 31日 夕方に見える	おひつじ座		合 5日		おひつじ座	西矩 11日 明け方に見える		おひつじ座	衝 9日 一晩中見える	おひつじ座		
海王星	みずがめ座		合 13日		西矩 16日 明け方に見える	うお座	衝 17日 一晩中見える		みずがめ座	東矩 15日 夕方に見える			
流星群	極大 4日 しぶんぎ座流星群 毎年多数出現する流星群。 2022年は月明かりもなく好条件です。			極大 23日 こと座流星群	極大 31日 ヘルクレス座流星群 日本では極大時刻は 昼間です。北米で大出現が 期待されています。	極大 13日 ペルセウス座流星群			極大 2日 おうし座 流星群 極大 13日 おうし座 南流星群 極大 18日 しし座流星群 極大 22日 オリオン座流星群		極大 14日 ふたご座流星群 毎年多数出現しますが、 2022年は月明かりがあるため 条件はよくありません。		
日食・月食				日本では見えません	部分日食 1日 南太平洋、南北アメリカ、 南米など	皆既月食 16日 北アメリカ、大西洋など	日本では見えません		日本では見えません	部分日食 25日 ヨーロッパ、アフリカ北部、 中東、インドなど	皆既月食 8日		

皆既月食 11月8日



明石での見え方

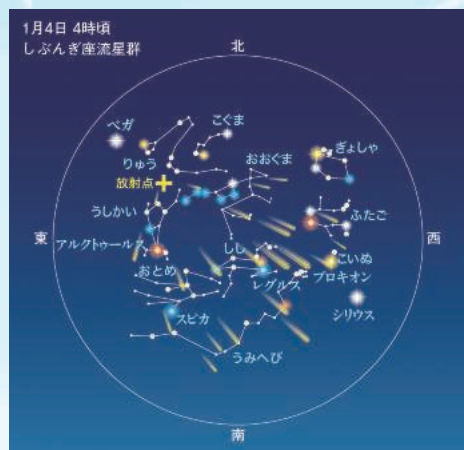
月食は、太陽が作る地球の影に月が入る現象です。その中でも、月全体が地球の影に入るとを皆既月食といいます。皆既月食では、月が地球の影に入っても完全な真っ黒にはならず、太陽の光のうち、赤色の光だけが月に届くために赤っぽく見えます。月の色の变化も注目です。

11月8日の皆既月食は、観察しやすい夕方ごろから始まります。また、皆既月食の途中、月が天王星を隠す「皆既月食中の天王星食」も起こります。

太陽系の星たちが織り成す、今年注目の天体ショーです。

流星群

しぶんぎ座流星群 1月4日



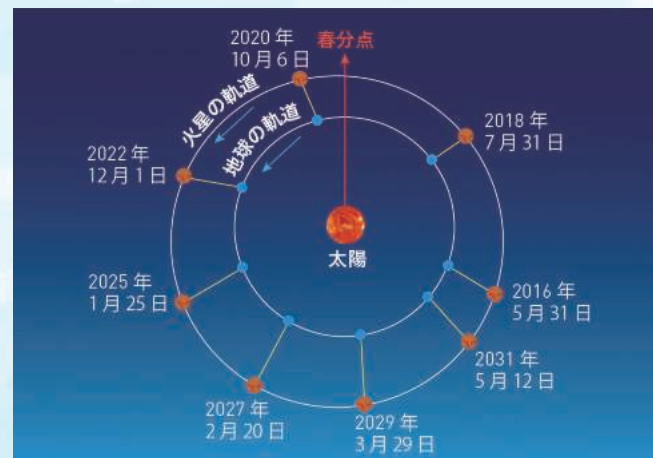
©天体観測
手帳2022

毎年、ほぼ安定して多くの流星が出現する三大流星群のうち、2022年は1月のしぶんぎ座流星群は月明かりの影響がほとんどなく好条件です。極大は1月4日6時頃と予想され、4日の明け方にかけて流星数が増加するでしょう。8月のペルセウス座流星群と12月のふたご座流星群は月明かりがあり、条件は良くありません。

流星群は、放射点を中心に広がるように流星が現れます。しかし、空のどこに現れるかはわかりません。なるべく広く空を見渡せる場所で、のんびりと流星を探すのがいいでしょう。また、夜はとても寒いので、暖かい恰好で観察しましょう。

惑星

火星の接近 12月1日



©天体観測手帳2022

火星も地球も太陽の周りを回っています。地球は太陽の周りを365日で一周、火星は687日で一周します。そのため、2年2か月ごとに地球と火星の間が近くなる「接近」が起こります。

火星接近の頃は火星がとても明るく見えます。接近ごとに地球と火星の距離は違い、今回の接近距離は8145万kmの中接近となります。その次の接近は2025年1月25日です。

宇宙開発

若田光一宇宙飛行士が、2022年の秋ごろから国際宇宙ステーション (ISS) に長期滞在する予定です。若田宇宙飛行士は、日本人最多となる5回目の宇宙飛行となります。

また、新しい日本人宇宙飛行士の募集も行われています。将来の活躍が楽しみです。



©JAXA/NASA



「流星群を観察しよう!」

流星群は、毎年決まった頃に、まとまって流れ星が見られる、毎年注目の天文現象だぞ! 1月には、しぶんぎ座流星群が見られるぞ。

Q 流星(流れ星)ってどんな星?

流れ星は、宇宙に漂う1ミリメートルから数センチメートルほどの小さなチリが、地球の大気に飛び込んできて、光る現象なんだ。

Q どうしてたくさん流れ星が流れるの?

流星群は、彗星と関係がある。彗星は、惑星と同じく太陽の周りをまわる天体で、氷やチリが混じった、汚れた雪玉のような天体だ。太陽に近づくと氷が溶けだすため、彗星が通り過ぎた後には、たくさんのチリが残されている。地球がそこを通ると、たくさんのチリが流れ星となって見えるんだ。

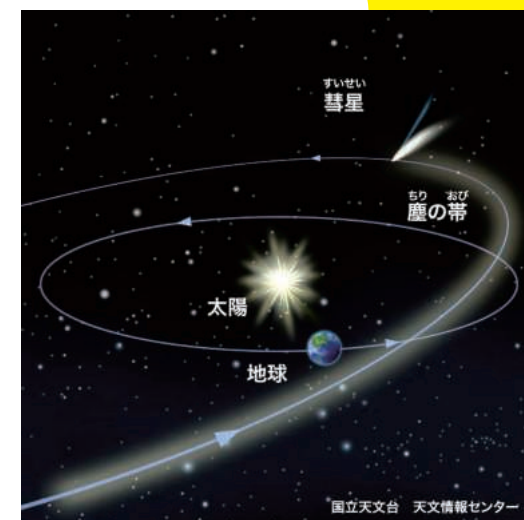
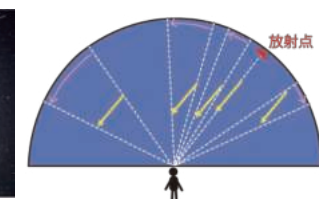


シゴセンジャー
レッド

地上から見ると、ある一点を中心に、空全体に流れ星が流れるように見える。その一点を放射点というぞ。流星群の名前は、放射点のある星座の名前がつけられているんだ。



しし座流星群



国立天文台 天文情報センター

Q どうやって観察したらいいの?

流れ星を見つけやすいのは・・・
①街明かりの少ない場所で ②できるだけ空が広く見渡せる場所で
③流星群の夜に ④根気よく観察する この4つが大切なんだ!

そのためには、サマーベッドや、レジャーシートがあると便利だぞ。明るい光が目に入ると、暗い流れ星を見つけづらくなるので、懐中電灯には赤いセロファンを貼ったり、スマートフォンの画面は、なるべく見ないようにしよう。寒さ対策もしっかりと!



シゴセンジャー
ブルー

月明かりがあると流れ星の光がかき消されて見つけにくくなるんだ。2022年は、1月3日夜から4日夜明け前がピークになる「しぶんぎ座流星群」が、月明かりの影響がなく、おすすめだ!



ブラック星博士

流れ星見て、星に願いをして
「★い」(ほしい)とか言ったりしてな、
わははははは!

夏休みこども天文クラブ

8月7日(土)・11日(水)・14日(土)・20日(金)

小学1年～中学生を対象に、オンラインで4回連続講座を開催しました。19時～20時もしくは～20時30分という、夕暮れから夜の時間帯の開催であったため、天候の良い日には天文科学館の望遠鏡からの中継で金星や土星を観望し、天候の悪い日はプラネタリウムからの中継で星空のお話を聞いていただきました。講座の最中に紹介した星をご自宅から探す時間やこどもたちの好きな星を一人ずつ発表する時間、宇宙の疑問に学芸員が答える時間などもあり、みんなで楽しく星について学びました。



観月会

2021年9月20日(月・祝)

今年の中秋の名月は9月21日でした。その前日に、明石公園で観月会が行われました。舞台上で朗読会や演奏会が行われたあと、天体観望会がスタートしました。多くの方が一緒に見ることができるよう望遠鏡で見た月をモニターに映し、井上館長の解説とともに満月前日の明るい月を眺めました。月が雲に隠れる場面もありましたが、木星や土星などにも望遠鏡を向け、秋の夜空を楽しむことができました。



天文科学館ボランティア「天ボラ」活動再開

2021年9月25日(土)

天ボラの活動は、新型コロナウイルスの影響のため、2020年2月より全面中止となっていました。約1年半ぶりに活動が再開しました。まずは天体観望会グループのみ、昼の太陽観測会からの再開です。再開初日の天気は快晴。興味深そうに、太陽投影板に投影された太陽を覗きこむ来館者たちに、担当する天ボラさんの表情も自然と笑顔になっていきました。10月9日(土)には夜間の天体観望会での活動も再開しました。今後、感染や対策の状況を見ながら、展示解説グループやキッズルームグループの活動も再開していく予定です。



中学生プレゼンテーション発表会

2021年10月10日(日)

毎年当館で夏休み明けに約1か月間、「夏休み児童生徒作品展」が開催されています。当館に展示される研究作品は、市内各校で校内審査を突破したわずか5点程度です。今年度は、市内で58点が展示された中から7名が入賞しました。その入賞者による研究内容の発表会が「中学生プレゼンテーション発表会」です。パピオス5階の多目的ルームに集った入賞生徒たちですが、保護者や学校関係者、当館スタッフの前でのプレゼンはかなり緊張したようです。しかし、どの生徒も発表が始まると、個々に聞き手を引き付ける工夫が見られ、「さすが中学生!」「市内を代表する研究者たちだ」と感心させられました。また、参観の生徒や保護者からの質問に対してもきちんと受け答えができていました。どの生徒の発表も大変素晴らしく、「甲乙つけがたい」とは、まさにこのことだと感じた時間でした。



ハロウィンイベント

2021年10月30日(土)～10月31日(日)

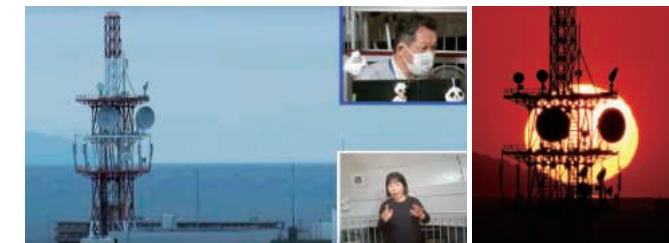
2021年度はハロウィンナイトミュージアムが中止となりましたが、日中にハロウィンイベントを実施しました。ハロウィンイベントでは、特定の時間になるとハロウィン仕様に飾りつけられた館内に陽気なBGMが流れはじめ、仮装した職員が出没しました。さらにハロウィンVer.のシゴセンジャーやブラック星博士まで駆けつけてくれました。彼らに「ハッピーハロウィン!」の合言葉を言ってくれた方へオリジナルグッズをプレゼントしたり、一緒に記念撮影をしたりなど、いつもと違った雰囲気天文科学館を楽しんでいただきました。



夕焼けパンダ見てみ隊(秋期)

2021年10月12日(火)

「夕焼けパンダ」とは、通信用アンテナと、天文科学館から見える夕日(太陽)が重なってパンダの顔に見える現象です。一年のうちこの現象が見られるのは10月12日と3月1日ごろの年2回だけです。「夕焼けパンダ見てみ隊」を募集し、350名を超える応募の中から抽選で選ばれた10名の方と観測をしました。また、夕焼けパンダ生中継では、事前にみなさんから募集した、てるてるパンダや綺麗な夕焼けの写真を紹介しました。当日はあいにくの天気で、パンダを見ることができませんでしたが、みんなで楽しく、夕焼けパンダを探しました。



特別展関連イベント 講演会

「望遠鏡を通して見る月の素顔」

2021年10月31日(日)

2021年10月9日(土)～12月5日(日)に開催していた、特別展「写真で見る「月面100景」(渡辺真一・天体写真展)」の講演会を実施しました。新潟にお住まいの講師・渡辺真一さんと天文科学館をオンラインで繋ぎ、YouTubeチャンネルで配信しました。「なぜ、同じ月を二度と見ることができないのか?」や展示されている写真についての解説をしていただきました。また、「渡辺さんが、なぜ、月を撮影するようになったのか?」や「天体写真をどのように撮影されているか」などもお話しいただきました。チャット欄には、質問も多く寄せられ、視聴者の方からリクエストがありました「月面X」は、天文科学館HP、Twitter、展示室内にてご覧いただけます。



「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい
6倍、8倍の入門機

YFⅡ series

星が見えにくい都市近郊でも
双眼鏡を使うことで
肉眼では見えなかった
多くの星たちが見えてきます

**感動・視体験
コーワ双眼鏡**

Kowa Binoculars

防水

YFⅡ30-6 (6×30)
希望小売価格(税別) ¥14,000

YFⅡ30-8 (8×30)
希望小売価格(税別) ¥15,000

優れた光学性能を
高いコストパフォーマンスで実現

SVⅡ series

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する
双眼鏡のトップブランド企業です

防水

SVⅡ32-8 (8×32)
希望小売価格(税別) ¥25,000

http://www.kowa-prominar.ne.jp

興和オプトロニクス株式会社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目11番1号 東興ビル TEL:03-5614-9540

館長エッセイ

天文科学館YouTubeチャンネルはご存じですか。人気なのは天体ライブ配信。11月19日の部分月食では晴天に恵まれ、月食の全過程をお届けできました。途中ハワイ・すばる望遠鏡で働く天文学者の臼田・佐藤功美子さん、田中壺さんのレポートで盛り上がり、最終的に約4万人の視聴者となりました。今後もお楽しみに!

各地で行われているライブ配信。新しい市民参加型の研究も生まれています。明石市立野々池中学校2年生の谷和磨君は、すばる望遠鏡に設置されたYouTubeの星空カメラ(朝日新聞宇宙部)を利用して興味深い研究をおこないました。谷君は、夏休みの自由研究として、約3週間にわたり、ペルセウス座流星群の出現数を記録。方法は毎夜午後10時～11時にスマートフォンを片手に流星数をカウント。一日も休まずよくぞ継続しました。時差の利用もうまい。感心します。実は2021年のペルセウス座流星群は、1

日半遅れの予想外の突発出現が観測され、世界中の流星研究者を驚かせたのですが、谷君はこの突発出現を記録することに見事成功していました。谷君の観測に感動した私は知人の流星研究者・佐藤幹哉さんに報告。佐藤さんは「涙が出た」という関係者に紹介。感動は波紋のように広がり、やがて全国ニュースにもなりました(田中壺さんも感動した研究者のおひとりです)。谷君は小学校の時から天文科学館に何度も訪問してくれている常連さんの一人。特にシゴセンジャーの大ファン。今回の自由研究も天文科学館でアドバイスをきいて、おこなったものでした。こうした形で成長を見ることができたのはとてもうれしいことでした。天文科学館は、星が好きなみなさんを応援しています。ご質問・ご相談がありましたら、どうぞ気軽にお知らせください(あと、YouTubeチャンネルの登録もよろしくおねがいします)。



プラネタリウム・オーバーホールのお知らせ

2月1日(火)～3月6日(日)は、プラネタリウム投影機のオーバーホール(分解整備)のため、プラネタリウムをご覧いただけません。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響で変更になる場合があります。当館ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。



プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

2022年の天文現象

1月5日(水)～1月30日(日)

春頃、明け方の東の空で金星・火星・木星・土星・海王星が大集合します。

11月8日の皆既月食では、月食中に、天王星が月に隠される「皆既月食中の天王星食」が起こります。惑星の見ごろや流星群など、2022年の天文現象についてお話しします。



美しきオーロラの世界

3月9日(水)～3月31日(木)

オーロラは、空を覆うカーテンのように輝き、幻想的な美しさで人々を魅了してくれます。主にアラスカや南極などの極地方で見られるオーロラは、太陽からやってくる太陽風によって起こる現象です。さまざまな色や形でゆめくオーロラの魅力を紹介しします。



キッズプラネタリウム 幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。

毎週土曜・日曜・祝日の第2回目と学校長期休業中の第2・第4回目の投影に実施します。

ふゆのせいざのおうさまオリオン

1月5日(水)～7日(金) 11時10分～/14時30分～

1月8日(土)～10日(月・祝) 14時30分～

1月29日(土)・30日(日) 11時10分～

冬の空には、明るい星がリボンの形で並びオリオン座が輝きます。冬の星座の王様とも呼ばれるオリオン座のおはなしをします。
※1月8日(土)～10日(月・祝)の第2回目は「軌道星隊シゴセンジャー」のキッズプラネタリウムになります。



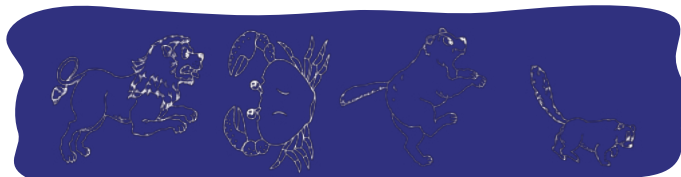
ほしぞらどうぶつえん

3月12日(土)～4月17日(日) 土日祝 11時10分～

3月25日(金)～4月6日(水) (春休み期間)

11時10分～/14時30分～

春の空にはいろんな動物の星座があります。みんなで見つけてみましょう。
※3月19日(土)～21日(月・祝)は「軌道星隊シゴセンジャー」のキッズプラネタリウムになります。



こども天文教室

下記の日程の9:50～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。



1月29日(土)「星の色と明るさ」 3月26日(土)「将来の天文現象」



星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と満天の星をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。【事前申込】

○日程 3月12日(土) 14時30分～

○参加費:入館料のみ



ベビープラネタリウム

乳幼児(0～4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

○日程 3月18日(金) 10時～

※投影時間約30分【事前申込】

○参加費:入館料のみ

詳しくは当館ホームページをご確認ください。



最新天文ニュース解説

おすすめの天文現象や最新の天文ニュースをわかりやすく解説します。

3月12日(土) 9時50分～

Event Calendar

1月	2月	3月
1月5日(水)～1月30日(日) 「2022年の天文現象」 1月5日(水)～1月30日(日) 「ふゆのせいざのおうさまオリオン」 ～1月30日(日) 「2022年全国カレンダー展」 1月29日(土) 【事前申込なし】「星の色と明るさ」 1月8日(土) 【事前申込】 1月1日(土・祝)～3日(月) 「新春プラネタリウム」 1月8日(土)～10日(月・祝) 【事前申込】「軌道星隊シゴセンジャー冬場所」	(投影机 オーバーホール) 2月5日(土)～4月3日(日) 「中垣哲也・オーロラ写真展」 2月6日(日) 【事前申込】 2月11日(金・祝) 【事前申込】 2月26日(土) 【事前申込】 3月11日(金) 【事前申込】 3月19日(土)～21日(月・祝) 【事前申込】「軌道星隊シゴセンジャー春場所」	3月9日(水)～3月31日(木) 「美しきオーロラの世界」 3月12日(土)～4月17日(日) 「ほしぞらどうぶつえん」 3月26日(土) 【事前申込なし】「将来の天文現象」 3月12日(土) 14:30～ 【事前申込】 3月12日(土) 9:50～ 【事前申込なし】「最新天文ニュース解説」 3月26日(土) 【事前申込】

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 最新天文ニュース解説 星と音楽のプラネタリウム 季節イベント 観望会 ナイトミュージアム

※新型コロナウイルスの影響等により、予定を変更する場合はホームページ等でお知らせします。

休館日のお知らせ

1
日 月 火 水 木 金 土
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29

赤文字:開館
青文字:休館

2
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28

3
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

天体観望会の実施日・申し込みについて

- ◆実施日時・申込方法の詳細についてはホームページをご覧ください。
- ◆参加費 定例観望会 1人 300円
特別観望会 1人 500円

駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

臨時休館のお知らせ 1月11日(火)～1月17日(月)まで休館いたします。



特別展

2022年全国カレンダー展

12月11日(土)～1月30日(日)

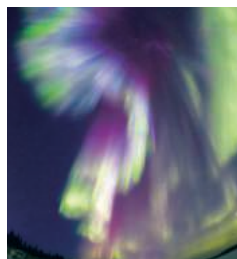
企業や公共交通機関が発行する新年カレンダーや、各国大使館等から提供される世界のカレンダーを展示します。



中垣哲也・オーロラ写真展

2月5日(土)～4月3日(日)

アラスカなどの極地方で見られるオーロラは、太陽からやってくる太陽風によって起こる天文現象です。オーロラメッセンジャー・中垣哲也氏が撮影した写真で、神秘的なオーロラの姿を紹介しします。



その他のイベント

お正月開館についてのお知らせ

天文科学館はお正月から開館します!

- ・開催期間:1月1日(土・祝)～3日(月)
- ・開館時間:11時～15時(最終入館は14時30分)
- ・入館料 :500円(高校生以下無料)

※1月1日(土・祝)～3日(月)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

・福袋、宇宙食などの販売あり

「新春プラネタリウム」

その日の夜は、どんな星空が見えるのでしょうか?冬の星や星座をご紹介します。

・投影開始時刻

① 11時30分～ ② 12時50分～(キッズプラネタリウム) ③ 14時10分～(投影時間約40分) 当日整理券制

軌道星隊シゴセンジャー

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!【事前申込】

冬場所 ・1月8日(土) 春場所 ・3月19日(土)
・1月9日(日) ・3月20日(日)
・1月10日(月・祝) ・3月21日(月・祝)

詳しくは当館ホームページをご確認ください。

